

ソバ栽培による遊休荒廃農地解消

塩尻市農業委員会・NPO 法人かきませ隊

塩尻市農業委員会によるソバ栽培事業の目的と内容

塩尻市農業委員会では平成21年度市内に約30ヘクタールある遊休農地の解消のため、農業委員が自らソバを栽培し、農地の再生を図っています。

(取組実績)

地区名	解消面積	再生後の栽培品目
旧塩尻	850㎡	ソバ
片丘	1,581㎡	ソバ
洗馬	4,561㎡	ソバ
計	6,992㎡	



(取組内容)

6月…農業委員が除草作業

7月…農地を耕作

(NPO 法人かきませ隊 in 塩尻業務委託)

8月…農業委員が種まき

11月…農業委員が収穫

22年度のソバの収穫量は約400kgになり、そば店等に販売しました。



事業の課題と今後の取り組み

この事業を通じて、どのような荒廃農地でも再生させることは可能ですが、片丘地区では鳥獣被害のため作付けが難しく、旧塩尻地区では土壤に小石が混合しているために他の作物の作付けが困難な状態です。

営農定着を図るためには土壤改良と継続的に耕作する担い手を探すことが今後の課題となります。

農業委員会では今後もソバ栽培事業を続けていく予定で、23年度は洗馬地区で栽培する予定です。



【報告：塩尻市】